



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1357 2023年5月29日

5月15日～6月15日は「情報通信月間」です

2023年度の情報通信月間は、「デジタル化、変えよう「暮らし」と「仕事」の仕組み」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として実施されます。ARIBは、情報通信月間行事として「電波の日記念講演会（6月7日）」（Webにて申込受付中）、「周波数資源開発シンポジウム2023（7月7日）」（予定）を開催します。

ARIBの動き

ITU-R WP 5A 第29回会合におけるITS関係の概要報告

WP 5A (Working Party 5A : 5A 作業部会) は、ITU-R の SG5 (Study Group 5 : 第5 研究委員会) の下に設置され、ITS (Intelligent Transport System : 高度道路交通システム) を含む、陸上移動業務に関する検討を行っている専門家会合であり、通常年2 回程度開催されています。

1. 会合の概要

日 程 : 2023年5月9日(火)～5月18日(木)

場 所 : メキシコ・メリダ (Web 会議併用)

参加者 (登録者ベース) :

世界各国、各団体から約320名、日本から総務省移動通信課 吉積義隆課長補佐を団長に15名、当会から横山次長が参加。

2. ITSに関する主要結果

・コネクティッド自動運転車 (CAV) の無線通信要件

WP5A では、コネクティッド自動運転車 (CAV: Connected Automated Vehicle) の無線通信要件に関する新 ITU-R 報告案 M.[CAV]を作成中です。

前回会合で追加された“歩行者や自転車の保護”の機能要素に関し、今回日本から ITS 情報通信システム推進会議のガイドライン (RC-016) に基づき寄与文書を作成し、入力しました。これはこの機能要素の説明文や図解の追記、及びメッセージセットとしての RC-016 の例示を提案したもので、日本提案の内容は報告草案に反映されました。また、

審議の中で、歩行者や自転車に加え、オートバイ等も対象に含むことが明確化され、“交通弱者（VRU：Vulnerable Road User）の保護”と名称が改められました。この新報告案は次回会合（2023年9月）で完成の予定です。

・ **ITSの周波数帯の調和**

2021年5月会合でITS用周波数帯の調和に関する勧告 M.2121 及びITSのアレンジメント例に関する報告 M.2444 を改訂することが合意されました。今回、両文書について、5.9GHz帯の2022年12月のカナダの制度改正を踏まえた更新が行われました。両文書改訂案は今回会合で完成し、2023年9月のSG5会合で承認の予定です。

3. 次回会合予定

次回第30回会合は、2023年9月18日～9月22日にスイス・ジュネーブで開催予定です。

マレーシア技術標準フォーラム主催会合への参加について

ARIBが事務局を務める第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）は、マレーシア技術標準フォーラム（MTSFB：Malaysia Technical Standards Forum Bhd）との協力覚書（MoU）に基づき、同フォーラム主催で同国クアラルンプール郊外の Cyberjaya において開催された会合及びイベントに参加しました。5GMFからは大村好則事務局長が参加しました。

1. 5G Expert Dialog Session 会合

1) 会合の概要

日 時： 2023年5月17日（水）10時～12時30分

場 所： Cyberview Resort & Spa Hotel

本会合は、MTSFB主催により、日本とマレーシアにおける5Gに関する商用サービス開始後の最新動向の情報共有や今後の展望の議論を目的に開催されました。

MTSFBからは、CEOのNormarrinee Nohd Nor氏、同フォーラムの作業グループ(WG)のメンバー約20名が対面参加し、Web配信が行われました。コーディネーターは、同フォーラムの活動計画に責任を持ちWGを統括するReference PanelのChairmanであるGopinnath RaoSinniah氏が務めました。また、マレーシア主管庁のMCMC (Malaysian Communications and Multimedia Commission) からは、Emi Sazlina Suhot氏 (Deputy Director of 5G Delivery Office) 他1名が参加しました。

2) 主な内容

冒頭にコーディネーターから開会挨拶があり、続いて5GMFの大村事務局長から、日本における5G商用サービスの状況、ローカル5Gの導入状況、ミリ波の利用状況等についてプレゼンが行われました。続いてMCMCのSazlina氏から、5G回線の卸売会社である国营会社DNB (Digital Nasional Berhad) が、単一5Gホールセールネットワークとサービスを構築、所有、運用し、携帯電話会社はDNBと卸売回線契約を締結し小売サービスを提供する仕組みとの説明がありました。DNBは、民間株式保有を当初の35%

から 65%まで開放し、5 社が卸売回線契約を締結した状況であり、2024 年末までに人口カバー率 80%、2030 年までに最大 90.2%を達成する計画であるとのことでした。

質疑では、日本における実効速度がクアラルンプールでの 345Mbps と比較し低いことや、無線基地局へのオープン RAN の導入状況、今後のミリ波利用のマイルストーン等に関する質問やコメントがありました。議論の中では、卸売回線価格の低減や新技術導入の遅れ等への言及があり、会合終了予定時間を大幅に超えました。



5G Expert Dialog Session 会合の主な参加者

2. ITU「世界電気通信の日」式典及び講演会

1) 式典の概要

日 時： 2023 年 5 月 17 日（水）14 時 30 分～17 時 45 分

場 所： Cyberview Resort & Spa Hotel

MCMC、MTSFB、マレーシア IEEE が主催する ITU の「世界電気通信の日」式典が開催されました。主催者を代表して MCMC の Abdul Karim Abdul Razak 氏（Head of Technology and Standards Division）、MTSFB の Normarrinee Nohd Nor 氏及びマレーシア IEEE の Nordin bin Ramli 氏から祝辞がありました。続いて、MCMC の Karim 氏が立会人となり、5GMF と MTSFB の間で協力覚書更新の署名式があり、大村事務局長及び Normarrinee Nohd Nor 氏が署名し、式典を終了しました。



MTSFB の Normarrinee 氏

2) 講演会の概要

式典に続いて主催者に加え、研究機関、大学、コンサルティング会社から6名による講演があり、5GMFは質疑応答に参加しました。各講演者から、研究開発/技術開発における国際標準化や国内標準規格の重要性が強調され、マレーシアの社会課題の解決に貢献するイノベーションに期待する内容が多くあり、産業界はインフラ構築より収益が期待できるアプリケーション・ソフト開発の分野に偏っているとの指摘がありました。日本に対しては、5Gの実装における省電力、二酸化炭素の排出低減等の環境問題についての取組の情報発信を期待する発言がありました。



式典及び講演会への主な参加者

3. 5G 体験施設への訪問

1) 訪問の概要

日時： 2023年5月19日（金）9時30分～12時45分

場所： Maxis Business Innovation Center、クアラルンプール

2) 主な内容

同施設は、マレーシアにおける商業の中心地である Petronus Twin Tower に隣接し、5G インフラによる IoT サービスの利活用方法を体験可能な展示が行われていました。工場の品質管理、検品等の労働作業の自動化、警備の高度化、農業分野の自動化（野菜の水耕栽培等）等について、操作可能な展示と大型ディスプレイを利用し、メリットを分かりやすく説明していました。5月9日に正式オープンし、既に国内外の多くの企業から引合いがあるとの説明があり、取引のポイントは価格だが、ユーザに対して5Gというワードは使わない方が良いとのコメントが印象的でした。



5G 体験施設訪問の参加者

第 319 回技術委員会（放送分野）を開催

第 319 回技術委員会（放送分野）を開催しました。

- 1 日 時： 2023 年 5 月 24 日（水）15 時 30 分～16 時 25 分
- 2 場 所： 当会第 3 会議室（Web 会議併用）
- 3 議 題：
 - (1) 「放送システムに関する技術的条件」の検討結果報告について
 - (2) FoBTv 技術委員会の結果報告について
 - (3) NAB Show 2023 の概要について
 - (4) 電波の日記念講演会の開催について
 - (5) 各社からのトピックス
 - (6) その他

ARIB 内会合（5 月 29 日～6 月 2 日）予定

- 5 月 30 日（火）：高度無線通信研究委員会 モバイルパートナーシップ部会 Web 会議
5 月 31 日（水）：ARIB 第 39 回理事会 Web 会議併用

国際会合（5 月 29 日～6 月 2 日）予定

参加を予定している会合はありません。

電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案に係る意見募集

－モノホニック放送の臨時災害放送局の被干渉時混信保護比の緩和－

【令和5年5月22日発表】

総務省では、モノホニック放送の臨時災害放送局の被干渉時混信保護比を緩和するため、電波法関係審査基準（平成13年総務省訓令第67号）の一部を改正する訓令案について、令和5年5月23日（火）から令和5年6月21日（水）までの間、意見募集を行っています。

【経緯】

これまで、災害時に災害情報を伝える手段の一つとして、臨時災害放送局（以下「臨災局」という。）が利用されてきたところですが、地方公共団体等が多数隣接している地域において臨災局を同時に運用する場合は、周波数が不足する可能性があります。

このような状況を踏まえ、モノホニック放送の臨災局（以下「モノホニック臨災局」という。）への混信保護比を緩和し、より多くのモノホニック臨災局を置局可能とするため、電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案を作成しましたので、当該訓令案に対して広く一般の意見を募集するものです。

詳細については [【令和5年5月22日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

非常時における事業者間ローミング等に関する検討会

第2次報告書（案）についての意見募集

【令和5年5月23日発表】

総務省では、非常時における事業者間ローミング等に関する検討会（座長：相田 仁 元東京大学大学院 工学系研究科 教授）において取りまとめられた「第2次報告書（案）」について、令和5年5月24日（水）から同年6月15日（木）までの間、意見募集を行っています。

【概要】

総務省では、非常時における事業者間ローミング等に関する検討会を開催し、非常時における通信手段の確保に向けて、携帯電話利用者が臨時的に他の事業者のネットワークを利用する「事業者間ローミング」等について、令和4年9月から検討を行ってきました。

今般、本検討会において、第2次報告書（案）が取りまとめられましたので、本案に対する意見募集を行うものです。

詳細については [【令和5年5月23日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

《 IoT・AI エンジニアに必須 》

第 36 回 モバイルシステム技術検定 2 級のご案内

モバイルシステム技術検定試験は、モバイルシステム構築に必要なワイヤレスデータ通信、モバイル情報端末、アプリケーション、セキュリティ、コンテンツ、M2M/IoT など構成する要素技術の理解度を計ります。システムエンジニア、コンサルタント、営業 SE などモバイルシステムで活躍を目指す方々には必須資格です。

多くの企業から「取得推進資格」として認定をいただき、業界標準資格として位置づけられ、既に 83,000 人以上の方が受検されています（2023 年 3 月末現在）。

モバイルシステム技術検定試験は、モバイルシステムの基礎知識を理解する（基礎）から、モバイルシステムの広範囲な技術者として活躍いただくための 2 級、さらに高度技術者として応用力を習得する 1 級、モバイルシステム構築のコンサルタントができる SMC から構成されます。

今回推奨する「2 級」は、モバイル通信ネットワーク、モバイル端末（ハード、ソフト）、モバイルコンテンツとサービス、セキュリティなどモバイル関連業務のデバイスからクラウド全体についての検定試験です。

皆様からのお申し込みを、お待ちしております。

【実施日時】 2023 年 5 月 19 日（金）～ 2023 年 7 月 10 日（月）

【募集期間】 2023 年 5 月 12 日（金）～ 2023 年 7 月 3 日（月）

【試験の方式・会場】 CBT（全国 330 カ所）

【受検料】 ARIB 会員様は割引価格となっております。

2 級：13,200 円（税込）

【受検案内の詳細と申し込み先】

https://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei_msg_02/

【問い合わせ先】 03-5401-1735（平日：10:00 - 17:00）

モバイル&IoTで飛躍する

MCPC

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階

<https://www.mcpc-jp.org/>

検定・講習会のお問合せは



MCPC検定事務局

TEL.03-5401-1735

FAX.03-5401-1937

E-mail:msec@mcpc-jp.org



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013

東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階

TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103

<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp